

# 文部科学省 「国際協カイニシアティブ」

## 平成19年度 教育協力拠点形成事業 第2回 国内報告会

～我が国の知見の活用による国際教育協力の質向上～

日時:平成20年2月18日(月曜日) 13:00～17:15 (開場12:30)

場所:三田共用会議所 1階 大講堂

主催:文部科学省

文部科学省では、我が国の国際教育協力の質向上を目的として実施している「国際協カイニシアティブ」教育協力拠点形成事業の活動報告会を開催いたします。

国際教育協力に関わる皆様に、大学やNGO等の国際協力活動についてご紹介させていただくと同時に、皆様より忌憚無きご意見を頂戴するよい機会だと考えていますので、積極的にご参加下さい。

## プログラム

### ■講演 I 【13:05～14:20】

愛知教育大学(宮川 秀俊)

「開発途上国の産業技術教育を支援するコアカリキュラム提供システムのモデル構築」

北海道大学(玉城 英彦)

「開発途上国の労働者を対象とする職業保健に関する国際協力モデルの開発」

豊橋技術科学大学(池田 則宏)

「産学連携による開発途上国の大学工学部の機能強化」

### ■ポスターセッション 【14:20～14:40】

九州大学(緒方 一夫)

「インドシナ地域における農学・獣医学系大学でのアウトリーチ活動の現状と協力一普及の理論と検証」

筑波大学(磯田 博子)

「一村一品プロジェクトを支援するバイオアッセイ技術習得のための食農環境教育モデルの構築」

名古屋大学(嶋田 義仁)

「伝統知識と技術の再活性化によるアフリカの草の根的開発(Grass Root Development)と環境保護」

日本大学歯学部(中島 一郎)

「発展途上国の地域ニーズに対応した口腔保健システムの構築のための教育支援」

### ■講演 II 【14:50～16:05】

愛媛大学(遠藤 弥重太)

「生命科学を中心とした統合型理科教育に関する国際協力」

拓殖大学(赤石 和則)

「途上国における教育の「質」の向上に資する教育手法モデルカリキュラムの構築と検証」

筑波大学(田中 正)

「知的援助リソース・ニーズデータベースにもとづく  
水資源・環境・災害教育協力モデルの最適化とその検証」

### ■「国際協カイニシアティブ」ライブラリーについて 【16:15～16:30】

筑波大学(磯田 正美)

### ■コメンテーター講評 【16:30～16:55】

学識関係者

国際協力機構(JICA)関係者

国際協力銀行(JBIC)関係者

### ■「大学の国際活動に関する調査結果から」 【16:55～17:10】

—大学による国際活動促進を目指して—

文部科学省大臣官房国際課国際協力政策室



三田共用会議所  
港区三田2-1-8 Tel:03-3455-7591  
東京メトロ南北線・都営地下鉄大江戸線  
麻布十番駅下車(2番出口)徒歩5分

参加ご希望の方は、2008年2月8日(金)までに、お名前、ご所属、職種、Eメールアドレスを明記の上、下記連絡先までEメールにてご連絡下さい。尚、当日の参加も受け付けております。

【参加申込・お問い合わせ先】

〒112-0001 文京区白山5-1-3 「国際協カイニシアティブ」事務局

Tel:03-3818-0715/Fax:03-3818-0750 E-mail: info@scp.mext.go.jp URL: http://www.scp.mext.go.jp/